

平成 27 年 7 月 27 日

参考資料

防災アートイベント「キツネをさがせ！ in 陸前高田」について

1 趣旨

小・中学生などの子どもたちが屋外で遊びながら、「逃げ地図」に記載された避難ルートや災害時の井戸の場所などについて学ぶとともに、広田町にある独特な屋号の呼び名を学び、むかし遊びを体験しながら、二次避難所の広田小学校に向かう避難訓練を行う防災アートイベントです。

2 場所

広田水産高校仮設住宅集会所（集合）、広田小学校仮設住宅集会所（解散）
六ヶ浦コース（六ヶ浦海岸付近→田谷の被災地→田谷の集団移転地→広田小学校）
大野コース（大野海岸付近→大野の災害用井戸→広田小学校）

3 内容

小学校低学年以下を対象にした六ヶ浦コースと小学校高学年以上を対象にした大野コースの二手に分かれ、それぞれ六ヶ浦と大野の海岸付近からおもちゃの望遠鏡やリーダーの大学生が持ったタブレット等を使ってアーティストの森脇環帆さんが作成したお面をかぶった「キツネ」を探しながら、災害時に利用可能な井戸を見つけ、避難場所・避難所に至る避難経路を歩く。タブレットには「キツネ」の目に組み込まれた画像がリアルタイムで送られ、それをもとに行き先を探す。

その途中で、広田町にある独特な屋号の呼び名（例えば、牛石など）を学びながら、また広田町でかつて子どもたちが遊んでいた「むかし遊び」を復活・体験する。

それぞれのコースには明治大学、東北大学、法政大学、北海道看護大学の学生ボランティアが 10 名以上つき、子どもたちの安全管理に万全の体制をとるとともに、道中子どもたちへの注意喚起を促す。

なお、各コースと各地点でのレクチュアなどを画像と音声で記録するため、科学警察研究所と子ども安全まちづくりパートナーズと明治大学都市計画研究室が協働して社会実装を進めている「聞き書きマップ」というアプリを活用して、今回の成果の共有化を図る。

4 各コースの詳細

別紙参照のこと。

5 備考

今回の企画は、安全点検地図づくりとともに、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) の研究開発プロジェクトの一環として行われている。

平成 27 年 7 月 27 日

参考資料

陸前高田市広田町の安全点検地図づくりワークショップについて

1 趣旨

当日子どもたちが歩くコースを「逃げ地図」上で確認するとともに、そのコースおよび周辺の通学路の交通安全や夜間の暗がりなど日頃気になっている危険箇所・不安箇所を「逃げ地図」上でチェックして特性のシールを貼ることを通して、災害に事故などを加えた総合的な安全点検地図を作成する。

2 会場

広田小学校仮設住宅集会所

3 内容

震災復興関連事業の進展に伴い、平日昼間は工事車両が頻繁に通行していることから、交通事故の危険や不安があると聞いています。また、津波からの避難に関して不安がある上、まだ外灯が少ないため、夜間の暗がりの心配があるといわれています。そこで、明治大学都市計画研究室と一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズが開発し、ファクター宮・森脇環帆がデザインした「まちの安全点検地図作成シール」を活用して、逃げ地図に事故などからの危険・安全情報を加えた広田小学校周辺の六ヶ浦コースと大野コースの安全点検マップ（A1 サイズ）を作成します。作成する地図自体もアートとしてデザインされたものになっており、絵として飾って楽しむことができます。完成した2つの安全点検マップは広田小学校に展示する予定です。

4 タイムスケジュール

①受付・説明	12:30～13:00	広田水産高校仮設住宅集会所前
②会場へ移動	13:00～13:20	広田水産仮設住宅→広田小仮設住宅
③広田町の逃げ地図報告	13:20～13:40	広田小学校仮設住宅集会所
④安全点検地図の作成	13:40～14:40	同上
⑤安全点検地図の発表	14:40～15:00	同上
⑥子どもの参加	15:00～15:30	同上

5 備考

今年5月に秩父市で「まちの安全点検地図作成シール」を使った安全点検地図が作成されましたが、デザインされたバージョンは今回の陸前高田市広田町が初めてです。

平成 27 年 7 月 27 日

参考資料

ツママレプロジェクト in 陸前高田実行委員長からのメッセージ

2015 年 5 月に陸前高田市広田町を訪れ、震災被害とは対照的な、青い空や新緑の美しさ、おおらかに流れる空気を感じまちが好きになりました。私は 2001 年から水を作品テーマとしています。水は恵みをもたらす大切なもので、入る器によってその身を変化させる柔軟さをもっています。一方それらが集まり濁流となる時、強硬に山をも崩す力を持ちます。広田町は水と共に暮らすまち、そこで過ごす子どもたちが水のように大きな力を秘めながらも、たおやかにサラサラと成長することを願い、防災とアートをミックスさせたイベントを企画させていただきました。

森脇 環帆

森脇環帆（もりわきたまほ）アーティスト

・所属

CREATIVE NETWORK FACTOR MIYA 代表

一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ 研究員

・略歴

1973年岡山県生まれ。筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。

94年「ヒルジロメ」ギャラリー下北沢、をかわきりにインスタレーション、パフォーマンスなど多数発表。

01年より墨田区の雨水利用および防災を作品テーマにしたアートプロジェクト「ツママレ」を主宰。キツネのお面をかぶり、雨水を煮沸濾過して観客にサーブする基本パフォーマンスを軸にし、暗闇で食事をする「ツママレ料亭」子どもたちがキツネを探すゲーム「水風船でキツネを探せ！」などのアートイベントを展開。

・実績

2001 「机上の理」会場：則武撚糸工場（墨田区向島）/アートロジー向島博覧会2001参加

2002 「ツママレ」会場：墨田区向島の廃屋

2003 「ツママレ料亭」会場：料亭美家古、大正民家園及び向島全域

/特別協賛：アサヒビール株式会社

2004 「ツママレin北京」会場：大山子芸術区芸術家通道（北京市朝陽区）/協賛：東京都

2005 「水風船でキツネを探せ！」会場：横浜ビジネスパークベリーニの丘

/主催：横浜ビジネスパーク

など